経営をよりよくしたい経営者様へ

経営カイゼンつうしん

今回の
テーマは
コンサルタント

vol.2

1.そもそも、なにもの！？

経営コンサルタントって聞いて、皆様は、どのような印象を持たれるでしょうか？

コンサルタントと、一口にいっても、様々な方がいらしゃいます。

大手コンサルティング会社にお勤めで活躍されている方は、大手企業様をお相手にコンサルティング活動をされているでしょうか？

また、専門分野を持って、個別のテーマに特化して、アドバイスをしている方もいるでしょうし、または、業種特化で、たとえば飲食店専門みたいな感じで、活躍されている方も。

コンサルタントとは、大雑把に表現すれば、とある事柄に対して、その知見をもって、これからの方向性を示し、アドバイスする方といえると考えています。

ちなみに、コンサルタントは、誰でも、すぐになることができます。
はい、名刺に〇〇コンサルタントとかけば、そのキャリアをスタートさせることができます。

強いていえば、国家資格としては、中小企業様をお相手とする、中小企業診断士がありますが、活動する上では、必須？ではないといえます。

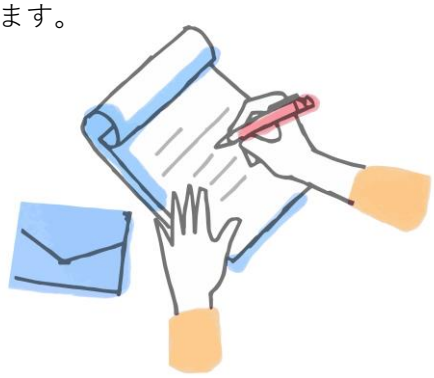
2.弊社サービス

〇〇に言葉を入れるとすれば、経営コンサルタントということになるでしょうか？

経営というものは、今後の方向性を見定めて、必要な人材・商材・設備投資・資金を用意し、適切に運用管理し、お客様に商品・サービスを届ける活動を指します。

その際に、どのような方向性をもって未来に向かっていくのか？、どのような運営を行っていくのか？、お客様とどのようにお相手していくのか？、一緒に考えていくというスタイルをとっています。

その答えは、実のところ、経営者様がすでに持っているのです。ワタクシの使命は、その思考の交通整理をすることです。決して一方的な指導はしません。あくまでもパートナーでいたいとかんがえています。



3.自己紹介

みなさまへ、手紙を書くつもりで書きます！

国仙悟志（こくせん さとし）　１９７４年７月９日、札幌市生まれ。早稲田大学法学部卒業後、地方大手百貨店に入社し、店頭販売、販売促進、店舗運営、民事再生法手続関連部署にて勤務しました。
　在職中、室蘭店勤務で赴任していたときに、あまりにも時間があることがわかり、（正確に書くと、ビールと焼鳥が美味しく不摂生がたたり、健康診断の結果が悪く、人事部に呼ばれたのがきっかけ）産業能率大学経営情報学部通信課程を受け、卒業しました。勝間和代氏がメディアによく出ていたころで、早起きして勉強に励むという生活スタイルが話題になり、ワタクシも、早起きの習慣を手に入れました。このとき以来ずーっと早寝早起きを行っています。
　その後、中堅石油販売会社にて勤務し、その間に、中小企業診断士を取得し、２０１１年に独立開業、２０１４年に法人を設立しました。百貨店時代に経験したマーケティング、マーチャンダイジング（品揃え戦略）、プロモーション、企業再生、そして、石油販売会社で経験した中小企業の実体験。
これらの経験、さらには、開業後の活動、研究などが、今の仕事のベースになっています。

©中小企業診断士　国仙悟志　株式会社ブルームプラン